中国四国あぐりレター 第600号 2026(令和8)年11月5日 中国四国農政局

◆◇ もくじ ◇◆

1 【重要なお知らせ】
2 【イベント】
3 【募集案内】
4 【お知らせ】
5 【消費者の部屋】
6 【ひとことメッセージ】
7 【ふるさと元気だより】
8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

読者アンケートのお願い

今後のメールマガジンの内容充実を図るため、読者の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。以下のURLよりご回答をお願いします。

https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/magazine/an20260323.html

1 【重要なお知らせ】

▼令和９年度農林水産予算概算要求について

令和9年度農林水産予算概算要求では、『「強く豊かな日本」投資枠』も活用し、食料安全保障の強化等に向け、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算を要求します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/budget/r9yokyu.html

▼中東情勢関連対策ポータルを設置しています

農林水産省では、昨今の中東情勢を踏まえ、支援策や各種相談窓口などの情報をまとめたページを公開しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html

▼燃料油や石油製品の供給に関する相談窓口の設置について

燃料油や石油製品等の供給について、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/260331.html

▼みどりの食料システム戦略

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階におけるカーボンニュートラル等の環境負荷低減事業活動を推進しています。

「みどりの食料システム戦略」全般に関する情報
https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html

2 【イベント】

☆中国四国農政局から

▼【新着】「第 6 回愛媛の食農の未来とイノベーション シンポジウム 2026」の開催について

愛媛大学と共催で「第6回愛媛の食農の未来とイノベーションシンポジウム2026」を開催します。本シンポジウムは、愛媛大学と農林水産省中国四国農政局の連携協定に基づき、我が国の食と農に関する産業のイノベーションと未来を支え発展させる若者や地域専門人材の育成の推進に貢献することを目的に、最新の政策等の情報を発信します。

【開催日時】
令和 8 年 12 月 12 日（土曜日）13 時 00 分から 15 時 30 分まで
【開催場所】
愛媛大学農学部大講義室（愛媛県松山市樽味 3 丁目 5 番 7 号）
オンライン（Zoom）で同時配信

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/261105.html

▼【新着】瀬戸中央自動車道与島パーキングエリアで開催される「せとうち収穫祭 2026」に中国四国農政局が参加します

中国四国農政局は、本州四国連絡高速道路株式会社との瀬戸内地域を中心とした中国四国地方の地域活性化等に関する包括連携協定を締結しています。同協定に基づくイベントとして、本州四国連絡高速道路株式会社が主催する「せとうち収穫祭2026」に参加し、出展を行います。

【開催日時】
令和 8 年 11 月 14 日（土曜日）、15 日（日曜日）両日とも 9 時 00 分から 16 時 00 分
【開催場所】
瀬戸中央自動車道与島パーキングエリア（香川県坂出市与島町西方 587 番地）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/setukei/261105.html

▼【新着】令和 8 年度 有機農業推進フォーラムについて

本フォーラムは、有機農業の更なる普及・拡大に向けて、先進的な取組事例、農業技術及び販路確保に関する知見を共有し、生産・流通・販売の各段階における取組の促進を図ることを目的として開催します。

【開催日時】
令和 8 年 12 月 14 日（月曜日）13 時 15 分～16 時 30 分（開場 12 時 45 分）
【開催場所】
公立学校共済組合岡山宿泊所「ピュアリティまきび」（岡山市北区下石井 2-6-41）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/se_kankyo/261104.html

▼【新着】パネル展「みどりの食料システム戦略」の開催について

中国四国農政局徳島県拠点では、農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」に掲げる2050年に目指す姿の実現に向け、「令和8年度徳島県拠点みどり戦略推進プロジェクト」に取り組んでいます。
当該プロジェクトの取組の一つとして、「みどりの食料システム戦略」への認知度を高めることを目的とし、パネル展を開催します。

【開催日時・開催場所】
(1) 鳴門市立図書館 1 階ロビー
所在地：徳島県鳴門市撫養町大桑島字蛭子山 49

開催日時：令和８年 11 月 16 日（月曜日）～令和８年 11 月 29 日（日曜日）９時～19 時
※11 月 16 日は 12 時から
※火曜日（休館日）を除く

(2) 徳島市立図書館 ５階ギャラリー
所在地：徳島県徳島市元町１丁目 24 番地
開催日時：令和８年 12 月２日（水曜日）～令和８年 12 月 14 日（月曜日）９時～21 時
※12 月２日は 12 時から、12 月 14 日は 15 時まで

(3) 阿南市役所 １階多目的スペース
所在地：徳島県阿南市富岡町トノ町 12 番地３
開催日時：令和８年 12 月７日（月曜日）～令和８年 12 月 21 日（月曜日）
８時 30 分～17 時 15 分
※12 月７日は 12 時から、12 月 21 日は 15 時まで
※土曜日、日曜日を除く

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/tokushima/261102.html

▼【新着】高校生が地域農業者と対話するイベントを開催します（「令和８年度 鳥取を耕す理由（わけ）を教えて in 日野高」）

中国四国農政局鳥取県拠点は、鳥取県立日野高等学校と連携し、「令和8年度 鳥取を耕す理由（わけ）を教えてin日野高」を開催します。

本イベントは、将来の地域農業の担い手となっていただきたい農業高校生を対象に、若手農業者が農業の魅力、職業とした理由、農業経営の現状や課題などを伝えるとともに、意見交換を行うことで、農業への理解を深めてもらい、就農へのきっかけづくりを目的として開催するものです。

【開催日時】
令和８年 11 月 11 日（水曜日） 10 時 00 分～11 時 00 分
【開催場所】
鳥取県立日野高等学校黒坂施設（鳥取県日野郡日野町黒坂 1109）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/tottori/261030.html

▼【新着】農政局フェアおかやまいいもの探訪～2026 冬～in 岡山高島屋の開催について

中国四国農政局は、岡山高島屋と連携し、農林水産省の様々な施策のPRを行うとともに、関連する岡山県の実践事例等の紹介や農産物・加工品の販売を行います。

【開催日時】
令和８年 11 月 26 日（木曜日）～11 月 30 日（月曜日）
10 時 00 分～18 時 15 分 最終日は 16 時 00 分閉場
【開催場所】
岡山高島屋 ８階催会場（岡山市北区本町６番 40 号）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/kikaku/261029.html

▼【新着】「ノウフクつながり広場 in さぬき～農業（ノウ）×福祉（フク）で地域を元気に～」の開催について

中国四国農政局香川県拠点は、高松サンポート合同庁舎において、四国矯正管区との共催により「ノウフクつながり広場inさぬき～農業（ノウ）×福祉（フク）で地域を元気に～」を初開催します。

農福連携（ノウフク）の取り組みを知って、見て、手に取って頂くイベントです。

【開催日時】

令和８年 11 月 15 日（日曜日）　10 時 00 分～15 時 00 分
【開催場所】
高松サンポート合同庁舎 アイプラザ及び東玄関前（香川県高松市サンポート３番 33 号）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/kagawa/261029.html

▼【新着】第８回おかやま有機農業フェアの開催について

岡山県における環境に配慮した持続可能な農業の実現に向けて、消費者をはじめ、流通業者、小売事業者や飲食店等に対し、有機農業への関心を高め、有機農産物や有機加工食品の需要と消費拡大を図ることを目的として「第8回おかやま有機農業フェア」を開催します。

【開催日時】
令和８年 11 月 14 日（土曜日）10 時 00 分～14 時 00 分
【開催場所】
JA 晴れの国岡山 旬感広場（岡山県総社市岡谷 23）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/sesaku/kihon/yukifair_261114.html

▼【新着】令和８年度 中国四国農政局 農村 RMO 推進フォーラムの開催について

中国四国農政局では、農村型地域運営組織（農村RMO）の普及啓発及び農村RMOに取り組もうとする関係者の知見の向上を図るため、農村RMO推進フォーラムを開催します。
農村地域、特に中山間地域においては、人口減少や高齢化が急速に進行し、農用地の保全と地域コミュニティの機能を維持･強化する農村RMOの取組が急務となっており、農林水産省では、令和4年度から形成支援事業を開始しています。
本年は、活動を支える人材の高齢化や担い手不足、世代交代の難しさなどの共通課題に焦点を当て、岡山県内での取組事例や実践者の声を共有しながら、地域人材の育成や若者・女性の参画、関係人口や外部人材との連携について考え、農村RMOの持続的な運営に向けたヒントを探ります。

【開催日時】
令和８年 11 月 27 日（金曜日） 受付開始 ９時 00 分～
【午前の部】 ９時 30 分～11 時 50 分　取組発表、パネルディスカッション
【午後の部】13 時 00 分～17 時 30 分　現地視察 及び 意見交換会（※午後の部は希望者のみ）

【開催場所】
【午前の部】岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）２階展示ホール
（岡山市北区駅元町 14 番１号）
【午後の部】岡山県笠岡市新山地区（大型バスで移動）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/261023.html

▼令和８年度中国四国農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討会の開催について

農林水産省では、事業の効率的な執行及び透明性の確保を図る観点から、事業採択後、一定期間ごとに当該事業をとりまく諸情勢の変化を踏まえた事業の再評価を行い、翌年度以降の事業実施方針を決定しています。
また、事業完了後一定期間（おおむね5年）経過後に事業実施がもたらす効果について、総合的かつ客観的に評価を行う事後評価を実施することとしています。
この再評価及び事後評価の実施にあたっては、専門的知見を有する第三者で構成する技術検討会の意見を受けることとしており、本年度の技術検討会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

【開催日時】

第４回：令和８年 12 月 14 日（月曜日）13 時 30 分～15 時 30 分
【開催場所】
第４回：岡山県岡山市北区桑田町 1-36 岡山地方合同庁舎 １階会議室

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/setukei/261009.html

☆農林水産省から

▼【新着】食文化と健康を考えるシンポジウム ―和食を世界の中で捉える― を開催します！

農林水産省は、令和8年11月27日（金曜日）に、標記シンポジウムを開催します。
食文化と健康の関係について、世界の研究の現状と課題を共有するとともに、和食と世界の食文化を比較しながら研究・教育・実践の視点から議論します。
皆様の御参加をお待ちしています。

【開催日時】
令和８年 11 月 27 日（金曜日）18 時 00 分から 19 時 30 分まで
【開催場所】
TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口 ホール 4C
（東京都港区高輪４丁目 10－18 京急第一ビル４階）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/261026_1.html

▼消費者参加型イベントにおける食品安全に関するブース出展について

農林水産省は、消費者庁、食品安全委員会、厚生労働省、及び経済産業省と連携し、「GOOD LIFE フェア 2026」（東京都）、「マタニティ＆ベビーフェスタ大阪 2026」（大阪府）、「SDGs 子ども・ユースフェア」（愛知県）の3つのイベントにおいて、子育て世代とその子ども等を含む幅広い世代の消費者を対象に、食品安全について楽しく学び、日々の習慣として取り入れていただくことを目的に、パネル展示のほか、展示内容を題材とした謎解き企画、関係府省庁によるミニ講座等を行います。

【開催日時】
令和８年 11 月７日（土曜日）から令和８年 11 月８日（日曜日）
【開催場所】
Aichi Sky Expo 展示ホール E（愛知県常滑市セントレア５丁目 10 番１号）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/260910.html

▼「アグリビジネス創出フェア 2026」開催！

農林水産省は、令和8年11月11日（水曜日）から11月13日（金曜日）までの3日間、東京ビッグサイトにおいて、農林水産・食品分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア2026」を開催します。
今年度は、「フードテック×スタートアップ―技術をつなげ、未来をつくる―」をテーマに、大学・研究機関・民間企業など、全国から167の機関が一堂に会し、農林水産・食品分野の最新研究や革新的な技術をブース展示・セミナーで紹介します。
「気になる技術はあるけれど、どこから話を聞けばいい？」
そんな方のために、専門コーディネーターによるマッチング相談や、弁理士・知財弁護士による無料相談会も充実。
ビジネスの種を探している方にも、研究成果の社会実装を目指している方にも、きっと新しい出会いがあるはずです。
リーフレットの公開と同時に、来場事前登録（無料）もスタートしています。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【開催日時】
令和８年 11 月 11 日（水曜日）から令和８年 11 月 13 日（金曜日）
（3 日間とも 10 時 00 分開場、17 時 00 分閉場）
【開催場所】
東京ビッグサイト西展示棟（西４ホール）（東京都江東区有明３－11－1）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/260908.html

▼☆農業参入に興味がある企業・法人のみなさまへ☆「農業参入フェア 2026」を開催します！

農業参入を希望する企業・法人を対象に、講演や事例発表、都道府県等関係機関との個別相談を通じて、農業参入に必要な情報収集やマッチングができる絶好の機会です！農業参入フェアにぜひご来場ください。

【開催日時】
大阪会場：令和８年 12 月８日（火曜日）13 時 00 分～17 時 00 分
東京会場：令和８年 12 月 17 日（木曜日）13 時 00 分～17 時 00 分
【開催場所】
大阪会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）（大阪府大阪市北区中之島５丁目 3-51）
東京会場：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内３丁目 5-1）

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/sannyu/sannyufair.html

---

3 【募集案内】

☆農林水産省から

▼【新着】犬用遺伝子組換え生ワクチンの第一種使用等に関する審査結果についての意見・情報の募集（パブリックコメント）について

農林水産省は、犬用遺伝子組換え生ワクチンの第一種使用規程（1 件）に関する承認申請を受け、申請書類の内容の妥当性を確認し、審査報告書をまとめました。当該審査報告書について、国民の皆様からの御意見をいただくため、令和８年 10 月 27 日（火曜日）から令和８年 11 月 25 日（水曜日）までの間、パブリックコメントを実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/261027.html

▼【新着】農作業安全に関する啓発活動を表彰する「農作業安全表彰」を実施します

農林水産省は、農業者、農業関係機関が取り組む農作業安全の啓発活動を募集します。優れた取組は、令和９年２月末頃に開催予定の「農作業安全対策全国推進会議」にて表彰する予定です。
農作業安全の啓発活動を行っている皆様、奮って御応募ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/261022.html

▼横浜グリーンエクスポで展示するグリーン技術を公募します！

農林水産省と国土交通省は、横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）におけるグリーンテックプロジェクトの一環として、優れたグリーン技術（グリーンテック）を集中的に展示する「グリーンテック集中見本市」を令和9年6月30日（水曜日）から7月27日（火曜日）まで開催します。集中見本市でグリーンテックの展示を行う民間企業、スタートアップ、大学及び研究機関等の公募を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/260929.html

▼GREEN×EXPO 2027 開幕に向け飲食店と連携した「GREEN TABLE キャンペーン」を実施

農林水産省は、令和9年3月19日（金曜日）に開幕する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開幕半年前を記念し、飲食店と連携した「GREEN TABLEキャンペーン」の参加店舗を募集します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/260918.html

▼フードテック官民協議会ビジネスコンテストのエントリー受付を開始します！

農林水産省が事務局を担う「フードテック官民協議会」において、「令和8年度未来を創る！フードテックビジネスコンテスト」を開催するため、ビジネスプランの募集を開始します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/260914.html

▼オンラインコミュニティ「みのりボイス」参加者募集中！

スマホで田んぼの情報を投稿・共有できる、無料のオンラインコミュニティ「水稲情報共有コミュニティ」です。各地域の生産者・農業関係者の方々から、気象・病害虫・生育状況等の情報をリアルタイムに収集し、調査結果を取りまとめる際の参考とするとともに、生産現場における情報共有を促進します。ぜひご参加ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。（外部リンク）
https://minori-voice.maff.go.jp/lp/

---

4 【お知らせ】

☆農林水産省から

▼【新着】「ノウフク・アワード 2026」選定結果及び「農福連携サポーターズ 2026」投票結果を公表しました！

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）では、農福連携に取り組んでいる優れた事例を「ノウフク・アワード」として表彰し、全国への普及を推進しています。今般、外部有識者による審査委員会を経て、196 団体の中から受賞団体を決定しました。
また、表彰式は令和 8 年 11 月 30 日（月曜日）に都内で開催します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/261102.html

▼【新着】11 月は「和食月間」、11 月 24 日は「和食の日」！

「いい（11）に（2）ほんしょ（4）く」と読む語呂合わせから、一般社団法人和食文化国民会議が制定した、「和食の日」（11 月 24 日）を含む 11 月は、「和食月間」です。
農林水産省では、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「和食」を次世代へ継承するため、幅広い世代が和食について知る機会や食べる機会を増やすための活動を進めています。
11 月の和食月間は、和食に関する取組を重点的に実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/261030.html

▼【新着】令和 9 年 1 月分からパックご飯、即席味噌汁、ラムネ等の炭酸飲料などの輸出額が把握できるようになります！

令和９年１月分の財務省「貿易統計」から、パックご飯、即席味噌汁、ラムネ等の炭酸飲料などの海外での需要が高く、輸出拡大が期待できる９つの品目の輸出実績がより正確に把握できるようになります。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/261030.html

▼【新着】食文化の海外展開・インバウンド拡大に取り組む外食事業者及び地方公共団体の支援対象を決定しました

農林水産省は、第２回日本の農林水産行政の戦略本部で報告された食文化産業振興 WG において取りまとめた取組を着実に実施するため、日本の外食事業者の海外店舗の大幅拡大を進める「外食事業者の海外展開拡大チーム」及び世界に向けて発信力を持つ食に特化した地域づくりを進める「インバウンド拡大チーム」において支援対象となる外食事業者及び地方公共団体を決定しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/261030.html

▼【新着】地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」の認定（令和８年度第２回）について

令和７年４月、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」が施行され、企業等による生物多様性の増進活動の計画について主務大臣（環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣）による認定制度が開始されました。
この度、令和８年度第２回認定として、122 か所を自然共生サイトとして認定いたしました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/261030.html

▼【新着】第 17 回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」受賞者の決定及び授与式の開催について

第 17 回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」の受賞者（ゴールド賞１名、シルバー賞３名、ブロンズ賞３名）が決定しました。授与式は、令和８年 11 月 16 日（月曜日）に帝国ホテル東京で開催します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/gaisyoku/261027.html

▼【新着】農林水産省とバングラデシュ人民共和国農業省及び漁業・畜産省との協力覚書の署名・交換について

令和８年 10 月 27 日（火曜日）に開催された日・バングラデシュ首脳会談を契機として、農林水産省はバングラデシュ人民共和国農業省及び漁業・畜産省との間で協力覚書に署名し、交換しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/y_kokusai/kokkyo/261027_1.html

▼【新着】第２回「食と農をつなぐアワード」受賞者決定

第２回「食と農をつなぐアワード」の受賞者が決定しましたのでお知らせします。
表彰式は令和８年 11 月 20 日(金曜日)に開催する予定です。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/261026.html

▼【新着】「雇用就農資金」令和８年度第３回目の募集を実施します

農林水産省では、雇用就農者の育成・確保を推進するため、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して「雇用就農資金」を交付しています。
この度、事業実施主体である一般社団法人全国農業会議所（全国新規就農相談センター）において、令和8年2月1日（日曜日）から令和8年10月1日（木曜日）の間に就農希望者を新たに雇用した農業法人等を対象に、令和8年11月25日（水曜日）まで令和8年度第3回目の募集を実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/261022.html

▼【新着】ブルーインパルスによる展示飛行に国産SAFを使用し、原料となる廃食用油を回収するキャンペーンを実施します

農林水産省は、経済産業省、国土交通省、防衛省及びFry to Fly Projectと連携し、GREEN×EXPO 2027の開幕日に予定されているブルーインパルス展示飛行に国産のSAF（持続可能な航空燃料）を使用します。あわせて、使用するSAFの原料となる家庭系廃食用油を回収するキャンペーンを実施します。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bio_g/261020.html

▼【新着】令和8年度（第22回）「若手農林水産研究者表彰」受賞者の決定及び表彰式開催のお知らせ

農林水産省は、令和8年度（第22回）「若手農林水産研究者表彰」について、農林水産技術会議会長賞の受賞者を決定しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/261020_1.html

▼農業経営発展計画制度について

令和7年4月1日より、農業経営発展計画制度が始まっています。
この制度は、農地所有適格法人が、出資により食品事業者等との連携措置を通じて農業経営を発展させるための計画（農業経営発展計画）について、農林水産大臣の認定を受けた場合に、議決権要件を特例的に緩和できるものです。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/241017.html

---

5 【消費者の部屋】

☆中国四国農政局から

▼「消費者の部屋」展示のご案内

「消費者の部屋」の展示コーナーでは、施策に関するパンフレットやイベント情報を紹介するとともに、農林水産行政、農業・農村や食生活などからテーマを決めて情報提供を行っています。

【設置場所】
岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎1階
中国四国農政局「消費者の部屋」展示コーナー

▽【新着】テーマ：「伝えたい！にっぽんの食・食文化～11月24日は和食の日～」

11月24日は「和食の日（いいにほんしょく）」です。
和食は、日本の豊かな自然や四季の移ろいの中で育まれ、地域ごとの風土や歴史、人々の暮

らしとともに受け継がれてきた食文化であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。
農林水産省では、この和食を次世代へ継承していくため、「楽しもう！にほんの味。～和のこころをつなぐ食の国民運動～（楽し味プロジェクト）」を展開するとともに、11月の「和食月間」において和食文化の普及・啓発に取り組んでいます。
今回、「消費者の部屋」の展示では、和食の特徴や魅力、和食文化の保護・継承に向けた取組として、「楽し味プロジェクト」の活動紹介のほか、中国四国地域をはじめ全国各地で受け継がれてきた郷土料理や食文化をご紹介します。

【開催期間】
令和８年11月16日（月曜日）～令和８年12月４日（金曜日）
9時00分～17時00分
（土・日曜日、祝日を除く。最終日は13時まで）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/261102.html

▽テーマ：「中国四国地域の魅力ある農林水産物・食品を海外へ！」

日本の農林水産物や食品は、その品質の高さから世界的に注目を集めており、和食人気の高まりを背景に、輸出額は年々増加しています。
今回、「消費者の部屋」の展示では、中国四国地域から輸出されているぶどうなどの果物をはじめ、味噌や醤油等の加工食品の輸出状況や魅力、生産者や事業者向けの輸出支援制度や補助事業を分かりやすくご紹介します。

【開催期間】
令和８年10月26日（月曜日）～令和８年11月13日（金曜日）
9時00分～17時00分
（土・日曜日、祝日を除く。最終日は13時まで）

詳しくは、こちらをご覧ください。（中国四国農政局ウェブサイト）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/seikatsu/261009.html

---

6 【ひとことメッセージ】

旅の途中の岡山で

企画調整室長　金田直樹

「月日は百代の過客にして、行かふ年もまた旅人なり。」は、有名な奥の細道の冒頭です。旅に明け暮れた俳人、松尾芭蕉には比べるべくもないですが、私も進学そして農林水産省に就職して以来の全国転勤で、旅の連続のような人生を歩んできました。改めて数えてみたら、ここ岡山は、生涯（といってもまだ50数年に過ぎませんが）で11か所目の住所でした。
これまで暮らした各地と比べ、岡山の特徴を書き出してみたら、こんなことに気づきました。順不同でご紹介します。
（１）気候
文字通り「晴れの国おかやま」です。冬の豪雪にも、夏の線状降水帯にも出くわすことがなかったのは、とてもありがたいことです。
（２）コンパクトな街
通勤を含めて日常のすべての行動が、平坦な土地柄と相まって徒歩で済ませられます。農政局が所在する都市では珍しいと思います。
（３）瀬戸内海の恵み
鰆や鯛、冬は牡蠣など、常に豊富で安価です。天然ものの大きな鯛が一尾500円強で、近所の店で売られていたのには驚きました。
（４）個性豊かな街とむら
私の趣味の一つは、休日のウォーキングです。岡山、早島、倉敷、総社、赤磐、玉野、和気、

矢掛、津山、真庭及び笠岡等、県内各地に行きました。各地で、特産物を活用したカフェを始めたり、空き家を民泊にしたりといった、新しい営みの実践に触れました。人口減少が言われている中でも、単にそれを嘆くのではなく、新たな取組を見聞きするにつれ、私も元気をもらいました。

（新たな気づきもあるかも）

旅の連続のような私の人生は、まだまだ続きます。数年後、旅の途中のどこかの街で、岡山の別の特徴に改めて気づくこともありそうです。もしありましたら、何かの形で皆様に伝えたく存じます。

---

7 【ふるさと元気だより】

これが我々のスマート農業

愛媛県拠点

「捨てるくらいなら、改造してみよう」と農家と農業機械会社のOBが立ち上がった。使われなくなった田植え機は防除機に、処分予定のコンバインは自走式もみ殻吸引機に生まれ変わった。部品のほとんどが廃品を再利用し活用している。結果、農機の購入費を削減し、省力化と環境配慮を同時に実現する。農家は、「使わなくなった農機を再利用しコスト削減・省力化につながる。生産費用の大半を占める農機具購入費を大幅に削減でき、環境にも良い。」と話す。また、OBは「自分の経験が生かせてうれしい。地球にやさしくお金をかけずに省力化もできる。いいこと尽くしでまさに一石三鳥だ。」と笑顔を見せる。

二人が口を揃えて言う。「今スマート農業機械がどんどん開発されている。しかし、到底手が出る金額ではない。いずれそれなりの価格になるだろうが、今はこれが我々のスマート農業である。」と。

---

8 【ウェブサイトの新着・更新に関する情報】

政策情報

【農業生産】

令和8年9月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/261030.html

指定野菜の入荷量及び卸売価格の見通し（令和8年11月）
https://www.maff.go.jp/chushi/press/se_tokusan/261030.html

令和8年産米の相対取引価格・数量について（令和8年9月）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/261016.html

米に関するマンスリーレポート（令和8年10月号）の公表について
https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/261016_1.html

【統計情報】

令和7年産米生産費
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/#y1

令和7年漁業経営統計調査結果
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/gyokei/#y

令和7年 生産者の米穀在庫等調査結果（令和8年6月30日現在の在庫量）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kome_zaiko/#y3

令和8年産「い」の作付面積、収穫量及び畳表生産量（熊本県）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/#y6

令和8年茶栽培面積（7月15日現在）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y4

令和8年耕地面積（7月15日現在）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y1

【採用情報】
https://www.maff.go.jp/chushi/org/recruit/index.html

【報道・広報】
◇ニュースレター
https://www.maff.go.jp/chushi/kohoshi/mag_newsletter/

◇BUZZ MAFFチャンネル（YouTube）
・高知を愛しちゅう最新動画
「いたどり」を採って食べてみた
https://www.youtube.com/watch?v=zd1NuBo3evg

・中国四国農政局鳥取ラーメン部最新動画
「鳥取県産食材100%のラーメンづくりに挑戦（#01ご当地ラーメン紹介編）」
https://www.youtube.com/watch?v=mQgAKK-IRFc

・ちゅーしのじかん最新動画
【おしえて！農政局】忙しいって本当？入省1年目の職員に密着してみた【総務課編】
https://www.youtube.com/watch?v=IBwp98y1FLY

【おしえて！農政局】初公開！入省6年目職員のリアルな1日【会計課編】
https://www.youtube.com/watch?v=toIZF7pnXrA

・広島の話をしよう最新動画
【Ｊ-クレジットの取組】広島の話をしようVol.4
https://www.youtube.com/watch?v=E4Q8Hzz6ad8&list=PLVc03uX0IwZv9XtGfkZmqc9rcPUddTf2M&index=1

中国四国農政局の「BUZZ MAFF（ばずまふ）」
https://www.maff.go.jp/chushi/pr/buzzmaff/index.html

【申請・お問い合せ】
◇発注・入札情報、その他公表事項
https://www.maff.go.jp/chushi/nyusatsu/

【その他】
◇農政局ウェブサイト新着情報
https://www.maff.go.jp/chushi/sintyaku/

編｜集｜後｜記｜

街路樹の葉も色づき、秋の景色が楽しめる季節になりました。朝晩は冷え込む日も増えてきましたので、体調管理に気を付けながら、実りの秋を楽しみたいですね。（か）

◆このメールマガジンは、農政情報をタイムリーにお届けするために、登録して頂いた方々に配信しています。配信の変更などはこちらからどうぞ。
https://www.maff.go.jp/chushi/mailm/

◆メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。
PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ウェブサイト
⇒https://www.maff.go.jp/j/use/link.html
「3PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

◆メールマガジンへのご意見・ご要望、または転載を希望する場合はメールでお知らせください。寄せられたご意見などは、メールマガジンで紹介させていただくこともございます。

◆中国四国農政局 お問い合わせ窓口
https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/161125.html

◆中国四国農政局 ウェブサイトURL
https://www.maff.go.jp/chushi/

◆中国四国農政局 公式Ｘ（旧ツイッター）
https://x.com/MAFF_CHUSHI

◆編集
〒700-8532　岡山市北区下石井1-4-1　岡山第2合同庁舎
中国四国農政局　企画調整室　電話：086-224-4511(代)（内線2111）

最後までお読みいただき、ありがとうございました。